



- 1 明るく元気なあいさつをしましょう。
- 2 健康・安全に留意して生活しましょう。
- 3 「自他共栄」 自分も大切、周りも大切。
- 4 「一歩改革」 昨日の自分より一歩でも前に進みましょう

第2学期終業式

今日で85日間の2学期が終了しました。3年生の修学旅行、白樺祭、スポーツ大会などいろいろな行事がありました。3年生はいよいよ進路実現に向けて本格的にスタートしています。大きな

事故がなく85日間を終えることができ、保護者の皆様に感謝申し上げます。終業式では各学年代表の2学期の反省発表がありましたので、掲載します。

1年代表 緑川くん

ぼくは、後期になってから学級委員長になりました。はじめの頃は、分からないことばかりでしたが、先輩にいろいろ教えてもらい少しずつできるようになりました。

では、2学期の1年2組の反省をします。一つ目は、生活面です。ぼくたちのクラスは、休み時間の過ごし方に問題があると思います。例えば、鬼ごっこをしたり、話が盛り上がり騒がしくなったりすることです。3学期には、これらの問題を改善できるようにしたいです。

2つ目は、学習面です。チャイム着席を全員がしっかりと行い、授業に臨めるようにしたいです。朝自習は、8時5分に全員がスタートできているので意識すれば必ず改善できると思います。

また、良くなってきている点もあります。それは、帰りの短学活の準備です。無駄話をしないで、集中してできるようになりました。さらに、ぼくがうれしいのは、クラスの中で呼びかけをしてくれる人が増えてきているということです。

3つ目は、文化祭です。合唱では、クラスの練習がうまくいかず悩みました。担任の先生とクラス全員で話し合い、クラスが「団結する」ために歌おうと決めました。それから、クラス全員で本気になって練習しました。本番では、心に残る良い発表ができたと思います。ぼくは、このクラスでよかったなと思っています。

3学期は、学年末テストがあります。そこで、この冬休みは「毎日、必ず勉強する」という目標を立て、頑張りたいと思います。

2年代表 中野目さん

二学期はいろいろな学校行事がありましたが、一番私の心に残っているのが職場体験です。将来医療関係の仕事に就きたいと考え、泉崎南東北診療所で職場体験をさせていただきました。一日目は、職員の方のお話を聞き、お年寄りの方とお話をしました。私は、おばあさんに戦後の日本が貧しかった時代の食生活のお話を聞かせていただきました。広告でとても器用に箱を折っていたので、自分から教えてくださいとお願いし、一緒に作って箱をいただいて帰りました。二日目は、施設の見学をしました。お年寄りが勝手に扉を開けて階段から落ちないようになど、いろいろなところに工夫がされていました。とても有意義な二日間でした。

白樺祭のTA発表では、今年も新聞班に入り、職場体験の新聞を作成しました。適職診断作りにチャレンジしました。始めたころは簡単にできていたと思いますが、後からだんだん難しくなっていき、たくさんの方に助けてもらい、何とか完成しました。他にもみんなで協力した新聞を作りました。

学級としても、合唱コンクールでは優秀賞を、スポーツ大会ではバレーボールが準優勝で、男子ドッジボールが優勝、さらに総合優勝することができました。団結して取り組んだ成果が出たと思います。

学習についてです。私の勉強の仕方には偏りがあって、好きな教科ばかりついついやってしまい、苦手な教科をやらなかったことがありました。テストの反省でも、苦手な教科を中心にしてやると書いても、それをなかなか実行に移すことができませんでした。三学期は二年生の締めくくりの学期です。好きな教科を伸ばすのはもちろんですが、苦手な教科もできるように取り組み、一番良い結果ができるようにしていきたいです。

3年代表 後藤くん

学級委員になって二ヶ月がたつ。学級委員は誰でもいいのではと心の底では思っていたが、推薦されたからには役目を果たそうと思っていた。しかし、十一月頃から学級委員の意味を考え始め、モチベーション上がらなくなった。授業中に私語が多くて、評定が下がっても、その人が悪いと他人事と思っている。僕は、その環境でも勉強できるからかまわないが、集中できないという人もいると思う。学級目標のレゴはそのような人を置いていってはいけないのだろう。しかし、僕は未だにレゴに賛同できていない。この目標は自分が提案したものだが、ただ、きれいごとを並べただけで選ばれるつもりはなかった。でも、選ばれたならみんなでそこに向かわなければならない。これからは受験もあるので、より一層必要なのだろう。それでも僕はそう思っていない。僕はどうすればレゴに向かっていけるのか。まずはそれを考えていかなければならないと思った。三学期の始業式から受験まで四十一日。一月中には、レゴという学級目標がただの飾りではなく、みんなが一つになって目指すべきものになるようにしたいと思う。昼休みはみんなが勉強しやすい環境をつくれるように協力したり、分からない人には分かる人が積極的に教えたりする。これらだけでは一つになるのは難しいかもしれないが、小さなことの積み重ねがレゴという学級目標に近づくと思う。そして、ただの学級委員ではなく、学級を導けるようになりたい。これらの達成のために、レゴの意味を再度見直して、みんなで考えたいと思う。

特集！ メディアの依存(影響)④

依存症の専門治療を行う国立病院機構久里浜医療センターが『ゲーム依存の悪影響』について、本格的なアンケート調査を行った結果を発表したことは、白樺No.31(12月5日)の特集！メディア依存①に掲載しましたが、今回からは、その久里浜医療センター院長の樋口進氏の著書「心と体を蝕む『ネット依存』」に掲載された内容を紹介していきます。

知っていますか？ ネット依存 韓国で起きている深刻な事態！

ネット依存の問題が最も深刻になっているのは韓国で、2004年にはネット依存により死亡事例が年間10件発生する異常事態

日本人のネット依存傾向・・・2012 中高生男子の6.2%、女子の9.8%で約52万人がネット依存と推定される。

ネット依存の特徴と症状 小中高生(10歳～19歳)が66%

家族の訴えから分かる行動パターン

○誕生日やクリスマス、進学祝いに何が欲しいと尋ねると、必ずパソコン関係のものを要求するようになった。

○ネットの時間について嘘をつくようになった。また、風呂場やトイレ、布団の中に隠れてネットをしていた。

○ネットの使用中に止めるよう声をかけたら、人が変わったような目つきをして怒鳴り返してきた。ネット(パソコンやスマホ)を取り上げたら暴力を振るった、あるいは部屋の物を壊した。

○部屋から大量のウェブマネーの領収書を見つけた。または、タンス預金や貯金箱のお金がなくなった。

○しばらくネット使用を禁止していたら、そのうち無気力になり、部屋に閉じこもって何もしない状態が続いた。

明日から冬休みです、メディアに接する機会が増えることが予想されますが、けじめをつけて接するようにしましょう！